

素子内蔵コネクタ

量産品

1980年代搭載開始

- ・「チップ実装 + トランスファ成形技術」を活用した商品
- ・柔軟な回路設計、突発的な回路変更のニーズに応える

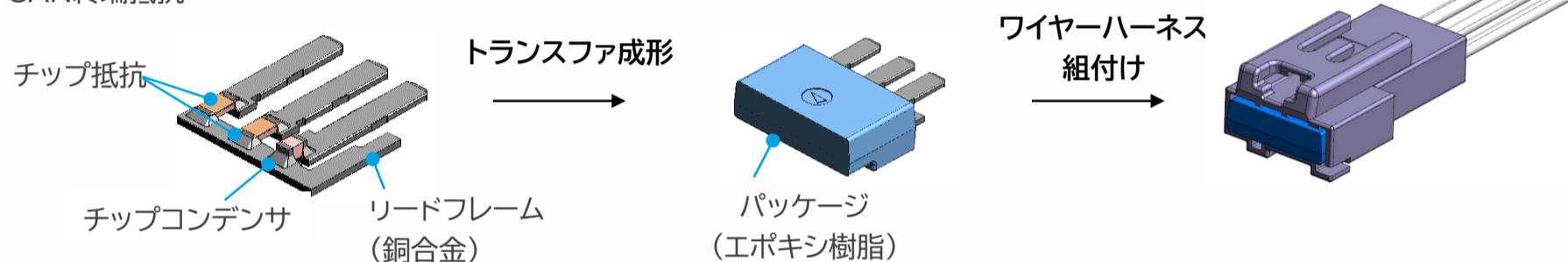
背景・課題

基板レスで、直接W/H回路上に電子部品を搭載するニーズに応える

課題への解決・特徴

1 チップ部品を内蔵したコネクタ形状

例: CAN終端抵抗



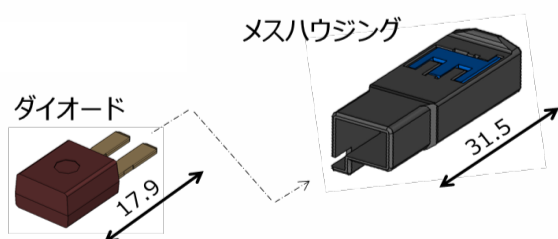
ワイヤーハーネス回路上にコネクタを設定し電子部品を配置することが可能

2 多様なラインナップから選択可能

I. ダイオード

電流の回り込み防止が必要な回路における整流作用として使用

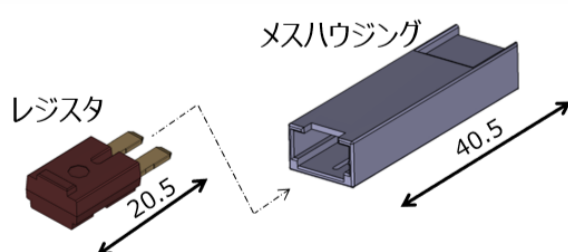
逆耐圧	400V
出力電流	1.5A、3.0A (複数素子内蔵タイプもあり)
使用温度	-30~80℃
端子サイズ	W2.3、W1.8
耐震性	44m/s ² @3軸-300hr



II. レジスタ

電流制限、分圧などの用途に使用

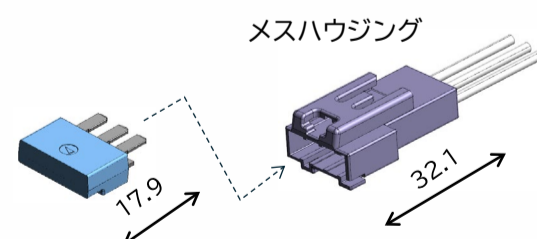
抵抗値	2.2kΩ、2.7kΩ (複数素子内蔵タイプもあり)
定格電力	0.5kW
使用温度	-40~65℃
端子サイズ	W2.8、W2.3
耐震性	44m/s ² @3軸-300hr



III. CAN終端抵抗

CAN通信回路用の終端抵抗に使用

抵抗値(R1/R2)	60.4Ω / 60.4Ω
静電容量 (C1)	0.047μF or 0.015μF or 0.0047μF
使用温度	-40~85℃
端子サイズ	W2.3
耐震性	44m/s ² @3軸-300hr



Check here!



ラインナップカタログ

月産200万個 / シリーズ累計5億個 を生産

※内蔵する電子部品のカスタムはご相談ください